

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/04/01 ~ 2019/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806000501	科目番号 / Course code	48060005
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10001_283		
授業科目名 / Course title	多文化社会学の諸問題 (社会) / Various Problems on Global Humanities and Social Sciences (Social Sciences)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	首藤 明和 / Toshikazu Shuto, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 森川 裕二 / Morikawa Yuji, 増田 研 / Masuda Ken, 佐藤 美穂 / Sato Miho, 南 誠 / Minami Makoto, 東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	首藤 明和 / Toshikazu Shuto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	首藤 明和 / Toshikazu Shuto, COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR, 森川 裕二 / Morikawa Yuji, 増田 研 / Masuda Ken, 佐藤 美穂 / Sato Miho, 南 誠 / Minami Makoto, 東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shuto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	総研棟11階・首藤研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2921		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールで連絡をして日時を相談すること。状況に応じて柔軟に対応する。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この講義は、多文化社会学部の新入生のための「知の旅への誘い」として位置づけられる。多文化社会とはいかなる社会なのか、それに学問的なアプローチをすればいかなる行為なのか、この行為によって見えてくるリアリティはどのような知と実践につながるのか。具体的な研究の概要を分かりやすく説明することを通して、これらの問いに答えようとする学術的営みについてのイメージを喚起する。		
授業到達目標 / Course goals	具体的な事例に基づきつつ、メタレベルの議論へのアプローチを構想することができるようになる。特に、「多様性」、「多文化」、「他者性」等、多文化社会学のキーワードに関連した内容を理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	試験・課題レポート (100%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業のなかで適宜指示をおこなう。		
キーワード / Keywords	多文化社会、多様性、他者性、複雑性、偶有性等。		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業のなかで適宜指示をおこなう。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4月11日)	(首藤) 多文化社会的状況における諸問題とは何か 冷戦構造後のカルチュラル・ターン、すなわち地政学上の地殻変動から生じた文化転換以降、文化はその包容性と排他性を顕現化させ、諸現象の説明変数として威力を発揮している。承認をめぐるポリティックス(神々の闘争)が増幅する今日の「多文化社会的状況」を、具体的な事例を通じて紹介する。
第2回 (4月18日)	(増田) 1990年代以降の途上国 特にアフリカでの開発の進行を事例として MDGsを中心に、破綻国家や政治的不安定などにも触れながら、アフリカでの開発について紹介する。
第3回 (4月25日)	(森川) 歴史・記憶における国際政治 国際関係を、国家間の権力関係だけではなく、歴史・記憶という時間軸から検討するための学問的な姿勢を議論する。
第4回 (5月9日)	(南) 歴史記憶と他者構築における和解の可能性 戦後中国における日本人イメージの変遷を題材に、歴史記憶と他者構築の関係性、および、歴史認識をめぐる対立の超克可能性について考える。
第5回 (5月16日)	(コンベル) 沖縄の歴史と記憶 戦時戦後の沖縄の日常に見るポリティックスについて議論。
第6回 (5月23日)	(東) 国や国家間で文化を育み、守るということ いかなる方法によって行われるべきなのか 一般的な国家間の法的ルールと、世界で最も国家間の経済統合が進んでいるEUの加盟国間の法的ルールを比較し、考える。
第7回 (5月30日)	(佐藤) 多文化社会学：アフガニスタンの保健事業を事例として 冷戦時代から現在までのアフガニスタンの歴史を振り返りながら、アフガニスタンで実施された保健事業を事例として多様性、自省性について考察する。
第8回 (6月6日)	試験(期末レポート)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/01 ~ 2019/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806001001	科目番号 / Course code	48060010
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10011_283		
授業科目名 / Course title	多文化社会学の諸問題 (人文) / Various Problems on Global Humanities and Social Sciences (Humanities)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 谷川 晋一, 森 元斎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, GUELBEYAZ ABDURRAHMAN, 谷川 晋一, 森 元斎		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	総合研究棟12F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2932		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 : まずメールでご連絡ください。日時を相談の上面談いたします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この講義は、多文化社会学部の新入生のための「知の旅への誘い」として位置づけられる。多文化社会とはいかなる社会なのか、それに学問的にアプローチするとはいかなる行為なのか、この行為はどのような知と実践につながるのか。具体的な研究を分かりやすく説明することを通して、このような学術的営みの輪郭を描き出すことがこの講義の目的である。「多文化社会学の諸問題」の人文篇においては、主として「共生文化コース」と「言語コミュニケーションコース」につながる問いを取り上げる。		
授業到達目標 / Course goals	多文化社会学という学問領域の人文系において、人間や文化に関してどのような問いが立てられ、どのような知見が生み出されているのか、具体的な事例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	個々の授業に関するレスポンスペーパーないし小レポート (5点×7回=35点)、最終レポート (50点) + 授業への取り組み (15点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。最終レポートは、最も興味を引かれたトピックに関して、自分なりに調べて、まとめるという形式になります。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習中心に講義を組み立てています。		
キーワード / Keywords	言語、翻訳、宗教、思想、歴史、文化		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書 : 長崎大学多文化社会学部 (編)・木村直樹 (他著) 『大学的長崎ガイド: こだわりの歩き方』昭和堂 (2018)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	多文化社会学部正規学生・留学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	高校での勉強とは違う、知の世界を旅しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
8回+最終レポート	<p>1回目は人文系の視点から見た多文化社会学について概観する。2回目以降は各担当教員が、自身の調査研究や教育実践の中から「多文化社会学とは何か?」という問いに関連した具体的トピックを挙げて講義する。</p> <p>1回目(4/12) 総論 葉柳 (人間学から説き起こす人文学)</p> <p>2回目(4/19) 言語 谷川(言語と社会: 地域方言と社会方言の観点から)</p> <p>3回目(4/26) 文化1 葉柳(翻訳の可能性と不可能性)</p> <p>4回目(5/10) 文化2 ギュルベヤズ(言葉と人間性)</p> <p>5回目(5/17) 思想 森(「私」と「他者」)</p> <p>6回目(5/24) 宗教 滝澤(科学と宗教のあいだ)</p> <p>7回目(5/31) 歴史 木村(歴史的事実と歴史叙述・歴史認識)</p> <p>8回目(6/7) まとめ 葉柳</p>

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/01 ~ 2019/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806001501	科目番号 / Course code	48060015
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10021_371		
授業科目名 / Course title	国際公共政策入門(政治) / Introduction to International Public Policy (Politics)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	morikay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	総研棟11F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2904		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メール(上記)アドレスでアポイントをとること。 柔軟に対応します		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多文化社会学部で国際関係を見る視点を学びます。国際社会と国内社会の一番の違いは、国際社会には世界政府・世界警察が存在しないこと。世界政府は存在しない状態をアナキーといひます。アナキーな世界で人々はどのように、世界平和を探索してきたのか?。授業を通じて世界を分析する視点をそれぞれが考え、政治経済を中心に国際関係の基礎を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	グローバル化した多文化社会の国際公共政策を学ぶためには、これまでの国際関係論ではカバーしきれない問題領域が目前に広がっています。国家以外のアクター、軍事的安全保障以外のイシュー、国際関係と国内政治の連動など。学生それぞれが問題関心を明瞭にすること、これから国際関係・国際関係を学ぶための視点を獲得すること、この二点を授業の最終目標にします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	試験70%, 各回授業の課題レポート30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	テレビ、新聞のニュースをチェックすること。授業で配布した資料を事前に熟読して授業に臨むこと。		
キーワード / Keywords	国際関係、アナキー、ガバナンス		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しない。事前に配布する資料に目を通して授業に臨むこと。参考図書として、原彬久『国際関係学講義』第5版, 有斐閣, 2016年; 藤原帰一『戦争の条件』集英社, 2013年。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	国際社会、平和、安全、どの言葉も抽象的な概念(言葉)です。それぞれの言葉の意味について考えて、世界について自分で考える視点を探しだす作業が求められます。事実を暗記する作業ではなく、「自由」に「考える」ことの意味を大切さをかみしめて授業に臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月12日	ガイダンス 多文化社会の国際公共経営
4月19日	国際社会からグローバル社会へ
4月26日	グローバル社会の視点
5月10日	国家安全保障(戦争と平和)
5月17日	人間の安全保障(人間と平和)
5月24日	国際経済の変動(繁栄の仕組み)
5月31日	国際関係と日本
6月7日	まとめ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806002001	科目番号 / Course code	48060020
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10031_361		
授業科目名 / Course title	国際公共政策入門(法) / Introduction to International Public Policy (Law)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	東 史彦 / Fumihiko Azuma		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fazuma nagasaki-u.ac.jp ( @ )		
担当教員研究室 / Office	総合教育研究棟11階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2925		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 / Wed 3		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講義では、国際社会における法の目的と機能、限界を学ぶことにより、国際社会における国家、個人、国際機構等の役割について考えるための知識を提供します。		
授業到達目標 / Course goals	本講義では、受講者が将来に渡って、国際法が関係する事例に携わる際に、情報の収集・分析、正しい判断を行うための基礎的な知識を習得できるようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業参加度(7%)、試験(93%)によりますが、積極的な受講態度による加点と、私語による減点があります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事後学習を行ってください。講義資料(レジュメ、ノート)を見返し、重要な点は何だったか、疑問点がないかを確認してください。疑問が解けない場合、講師に質問してください。		
キーワード / Keywords	国際法、国連、国際司法裁判所、国際刑事裁判所、国際経済法、WTO、国際人権法、国際私法、国際民事訴訟法、EU、EU法		
教科書・教材・参考書 / Materials	ハンドアウトをもとに講義を行います。教科書指定はありません。 参考書: 中谷和弘他著『国際法 第3版』有斐閣アルマ(2016年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	法律の未修者でも理解できるようにしますので、特に受講要件はありません。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	国際法は、国際社会における国家間のルールであるのみならず、国内の私たちの日常生活を規律する国内法に影響を与えておりますので、しっかり勉強していきましょう。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	東史彦 / 在ミラノ日本国総領事館・派遣員業務で体得した国際法等に関する知見を教育内容に反映 している
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、国際法 1
第2回	国際法 2
第3回	国際刑事法
第4回	国際経済法
第5回	国際人権法
第6回	国際民事訴訟・国際私法
第7回	EU法
第8回	定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806002501	科目番号 / Course code	48060025
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10041_381		
授業科目名 / Course title	国際公共政策入門 (経済) / Introduction to International Public Policy (Economics)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小松 悟 / Satoru Komatsu		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skomatsu @ nag asaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟、多文化社会学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前にアポイントを取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な人間の行動は、経済学の見方を取り入れることで、その背景や理由をより詳しく理解することができます。本講義では人間活動の蓄積である文化や社会的な慣習を踏まえて成立してきた経済現象を取り上げます。身近な事例を基に人々の行動の背景となる経済学の知識を学び、自身の意思決定にも役立てることを目指します。本講義を通じて、社会の基盤となる経済現象の多様性を理解することで、多文化社会における経済問題の位置づけを考えます。		
授業到達目標/Course goals	(1)経済への関心を深めるとともに、身のまわりの社会現象を経済学の視点から理解できること。 (2)学んだことを生かして、より豊かな社会を築くための制度設計を考えることができること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出物の内容による評価：55% 最終試験：45% 全授業開講回のうち、3分の1を上回る回数の授業を欠席した場合、成績評価の対象としない。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	インセンティブ、選択、文明史、交易、世界システム論		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な教材は、講義の中で適宜指示する。 ・参考書 -大竹文雄 (2005)経済学的思考のセンス お金がない人を助けるには、中公新書 -Gregory Mankiw (2011) Principles of Economics, 6th edition, Cengage Learning. -一橋大学経済学部(2013)教養としての経済学：生き抜く力を培うために、有斐閣		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	経済学はお金のことだけを扱う学問ではありません。人々が日常何気なく行っている選択行動や意思決定を対象とする学問です。身近な行動を分析することで、人々や社会全体が幸福になるためにはどうしたらよいかを考えます。みなさんの積極的な参加を期待します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>イントロダクション、結婚の経済学</p> <p>本講義の全体構成を説明します。実社会の様々な現象を経済学の見方で捉えることの意義や重要性を考えます。</p> <p>近年晩婚化が進む中でも結婚したいと考える人は依然として多いです。機会費用、ベッカー理論、比較優位といった概念をもとに結婚のメリットとデメリット、家族を持つことの意味を経済学の視点から考えます。</p>
第2回	<p>購買行動</p> <p>人々は日常生活の中で無意識に様々な選択をしています。今回は購買行動を事例に選択行動を考えます。更に市場にある品も、同じ品質のものでも季節や日時に応じて価格が大きく変動しています。学割やバーゲンといった事例から価格差別、更に選択のパラドックスを学び、購買行動における選択、商品の価格の意味を考えます。</p>
第3回	<p>文化と観光</p> <p>社会が多様化・国際化していくと同時に、地域の固有の伝統・文化を再発見し地域振興に寄与しようとする動きも広がっています。日本における旅の歴史・文化を振り返るとともに、観光による経済効果をどのように地域に還元するのかを考えます。</p>
第4回	<p>お金と幸福の経済学</p> <p>お金があっても幸せになれるとは限りませんが、お金がなければ幸せな生活をつかむのは難しいと思います。一方で、所得が高くとも幸福感が高くないという現象は、日本だけではなく欧米諸国でも確認されています。幸福はいったいどのような要因で決まるのか、相対所得仮説や順応仮説といった理論を踏まえながら、お金と幸福との関係を考えます。</p>
第5回	<p>貧困と格差</p> <p>競争や格差に関する捉え方は、市場経済国の中においても大きく異なります。貧困とはどういう状況を指すのか、格差は近年広がっているのかどうか。ここでは各国の競争・格差・貧困や経済格差を近年の指標で確認するとともに、格差が存在することの意味を考えます。</p>
第6回	<p>賃金と就職</p> <p>働くことや雇用に対する考え方は国によっても大きく異なります。各国における近年の雇用情勢を踏まえながら、働き方の違い(正規労働と非正規労働)、就職活動、失業、職業訓練の意味を考えます。</p>
第7回	<p>リスクと保険</p> <p>人々のリスクに対する考え方は非常に多様です。実社会で様々なリスクに備えるための仕組みが保険です。ここでは自分のリスクに対する捉え方を、実験を通じて考えます。更に少子高齢化が進む中での医療や老後の経済的問題を検討します。リスク選好・不確実性・トレードオフといった概念をもとに、リスクに対する備え、保険の役割や限界を考えます。</p>
第8回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806003001	科目番号 / Course code	48060030
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10051_401		
授業科目名 / Course title	社会学入門 / Introduction to Sociology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 則弘		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 則弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 則弘		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nnakamura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟(12F)、中村研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2951		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前期は火曜4限(14:30-16:00)、期是水曜5限(16:10-17:40)とする。ともに事前連絡を要する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会学とはどういう学問なのか、それを学ぶことの意味はどこにあるのかを、なるべく平易に講義 します。社会学的想像力ということ、講義全体を貫く軸として設定します。		
授業到達目標/Course goals	社会学について自分なりの説明ができるようになる。 社会学的な見方を理解できるようになる。 社会学的想像力の重要性を意識できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に適宜指示する。		
キーワード/Keywords	社会学、社会学的想像力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社 会的障壁の除去および合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポ ートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相 談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MALL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	社会学の面白さをわかってもらえればと思います。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)			

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス
2回	社会学とは何か
3回	社会学理論の類型化をめぐって
4回	社会学と社会学的想像力
5回	社会学の古典から
6回	現代社会をめぐって
7回	問題意識と社会学 - 学生自身の取り組みから
8回	試験と講評

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806003501	科目番号 / Course code	48060035
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10061_351		
授業科目名 / Course title	人類学・民俗学入門 / Introduction to Anthropology and Folkloristics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	増田 研 / Masuda Ken, 細田 尚美 / Hosoda Naomi, 王 維 / Wang Wei, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	増田 研 / Masuda Ken, 細田 尚美 / Hosoda Naomi, 王 維 / Wang Wei, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 波佐間 逸博 / Itsuhiro Hazama		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	科目責任者・増田研 ken-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総研棟2階 増田研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2923		
担当教員オフィスアワー/Office hours	オフィスアワーは火曜日の4校時・5校時ですが、その他の時間帯については随時メールで問い合わせてください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この科目は、文化人類学 (Cultural Anthropology) と民俗学 (Folklore) の入門科目である。この科目に引き続いて、文化人類学基礎5科目 (「観光」「生態・社会」「民族誌」「民俗学」「移民」) があるため、本科目はこれら5つの基礎科目へのイントロダクションとしての位置づけが与えられている。		
授業到達目標/Course goals	この科目の到達目標は以下の一点である。 (1) 人類学・民俗学的アプローチの特徴を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義科目であるが、小さなワークを複数回採り入れるほか、復習課題も課す。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として、参考書の該当箇所を読むことが求められる。		
キーワード/Keywords	自然と文化、文化人類学、民俗学、異文化理解。社会動態		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書は以下の通りである。 1. 梅屋潔・シンジルト (編) 『新版 文化人類学のレッスン』学陽書房、2017年 2. 山下晋司 (編) 『文化人類学入門：古典と現代をつなぐ20のモデル』弘文堂、2005年 3. 内堀基光・奥野克巳 (編) 『文化人類学』NHK出版、2014年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	多文化社会の動態を、ミクロな領域から切り開き、ヒト社会全体の課題として提示するのが人類学・民俗学です。この講義では主に、「なぜ人類学・民俗学的なアプローチが生まれ、必要とされるのか」という、学問そのものの根幹を問い直すとともに、専門的なトピックを通じて研究の実践例を学びます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Anthrop+ology : 人類学超入門 (増田研)
2	民族誌という方法論 (増田研)
3	トピック(1) 人間と環境・生業 (波佐間逸博)
4	トピック(2) 伝統の自覚と観光 (王維)
5	トピック(3) 人の移動と共生 (細田尚美)
6	トピック(4) 文化人類学と日本民俗学の関係 (才津由美子)
7	トピック(5) ミクロとマクロをつなく、ローカルとグローバルを橋渡す (増田研)
8	まとめとテスト

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806004001	科目番号 / Course code	48060040
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10071_331		
授業科目名 / Course title	歴史学入門 / Introduction to Historical Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	木村 直樹 / Naoki KIMURA, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	木村 直樹 / Naoki KIMURA		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	木村 直樹 / Naoki KIMURA, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-kimura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2914		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	かつてE・H・カーという歴史家は、「歴史とは現在と過去との対話である」といったが、大学で学ぶ歴史学は高校の「日本史」、「世界史」とはずいぶん異なる。本講義はまず、いわゆる歴史学を中心にして、歴史とは何か、歴史を研究する意義とは何か、歴史学の歴史、歴史を研究する際の素材(史料)、その分析・解釈の方法、歴史学が扱うさまざまなテーマなどを論ずる(以上、5回)。そして、最後の2回では、物質資料を通して人類史を研究する考古学を中心に、文献史学の関連分野やそれらの関係性を紹介する。		
授業到達目標/Course goals	史学史を踏まえた上で、歴史および考古学を研究する意義について説明できる。 歴史学・考古学の材料としての史料・資料を批判的に検討する技法を得る。 自分を現代史の中に位置づけることを通じて、人類史の中で現代を相対化する視点を得ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	木村担当分: 課題レポート(40%)、定期試験(30%) 野上担当分: 課題レポート(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の講義の終了時に指示する。		
キーワード/Keywords	歴史叙述、史料・資料、史料批判、方法論		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いず、プリントを配布する。参考文献は、講義中に提示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ く教育内容(実務経験のある教員による授業科 目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10月3日	歴史とは何か、歴史を研究する意義とは何か
10月10日	史料批判、史料読解
10月17日	歴史学(歴史叙述)の歴史
10月24日	歴史学の諸テーマ・分析方法
10月31日	日本と世界ー「自分」の歴史学的立ち位置
11月7日	考古学入門(1):モノから見る人類史
11月14日	考古学入門(2):考古学の方法論
11月21日	総括および定期試験



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806004501	科目番号 / Course code	48060045
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10081_275		
授業科目名 / Course title	文化研究入門 / Introduction to Cultural Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、現代社会の様々な諸問題や出来事を文化的事象から分析していくことで、現在の私たちが生きる社会の背景を浮き彫りにしていくことを目的とします。音楽や映画、芸術などの文化的な出来事を手掛かりに、現代社会で生じている社会問題をいかに分析していくのかを理解するツールを提供していきます。		
授業到達目標/Course goals	文化研究にまつわるその思想的背景や文化的背景を理解する。また文化に関する解釈の方法を分析できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間レポート (40%) と期末の筆記テストによる (60%)。中間レポートも期末テストも、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義内容に沿った復習のレポートの提出		
キーワード/Keywords	文化、社会運動、社会思想、メディア		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )			
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	オリエンテーション：文化研究とは何か
2	都市文化研究：ルー・リードとニューヨーク
3	1968年の精神(1)：キング・クリムゾン
4	1968年の精神(2)：映画の政治化・政治の映画化(ゴダールと足立)
5	Black Lives Matterと音楽：ファレル・ウィリアムス、プリンス、ディアンジェロ
6	環境問題と文学、そしてドキュメンタリー映像(石牟礼道子と木村栄文)
7	イデオロギーと想像力(イーグルトンとフィリップ・K・ディック)
8	La ZadとNo TAVあるいは、三里塚闘争(クリスティン・ロスと小川紳介)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806005001	科目番号 / Course code	48060050
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10091_294		
授業科目名 / Course title	思想・宗教研究入門 / Introduction to Intellectual and Religious Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 連 清吉 / Ren Seikichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 連 清吉 / Ren Seikichi		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp ( @ )		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々はいかなる存在か、そしてどのような世界に生きているのか、古来人は様々に思い巡らしてきた。本授業は、時間や空間、靈魂や生命、人間や宇宙といったものについて人が抱いてきた観念を歴史的に俯瞰することで、いま私たちが「当たり前」と信じている近代的(科学的)な人間観やコスモロジー(宇宙像)を見つめなおす。それを通して、思想や宗教について学ぶための基本的な視座を身につける。		
授業到達目標/Course goals	時間や空間、靈魂や生命、人間や宇宙に関する人間の観念の歴史を学び、その概要を説明できるようになる。 近代的なもの見方、考え方を批判的に捉えるための基本的な視座を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への積極的参加 (レスポンスペーパーの提出など) 50%、課題50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連する文献・資料の読解		
キーワード/Keywords	思想, 宗教, 人間, 世界, 社会		
教科書・教材・参考書/Materials	参考文献については、授業中に適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	キリスト教と近代的生命観
第2回	キリスト教と近代的人間観
第3回	自然神学と近代諸科学の誕生
第4回	ダーウィン進化論とキリスト教
第5回	儒教の人間観と世界観
第6回	道教の時間論と空間論
第7回	佛教の生命観

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806005501	科目番号 / Course code	48060055
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10101_321		
授業科目名 / Course title	言語コミュニケーション入門 / Introduction to Language and Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一, 楊 曉安 / Yang Xiaolan, Cutrone Pino / Pino Cutrone, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, 原田 走一郎 / Soichiro Harada, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一, 楊 曉安 / Yang Xiaolan, Cutrone Pino / Pino Cutrone, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, 原田 走一郎 / Soichiro Harada, 西原 俊明 / Nishihara Toshiaki, 小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	代表者谷川: shintanigawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	ピノ、谷川、原田: 総合教育研究棟5階、10階、12階 小笠原、西原、楊、隈上: 言語教育研究センター1階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールによる申請で対応		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多文化社会で活躍するには、言語に関する基礎的知識を習得した上で、場面に応じて適切かつ適 確に言語を運用する力が求められる。本授業では、英語、中国語、日本語を軸に、言語そのもの の特性とそれを取り巻く環境について考察を行うことで、「言語学」と「語学」の差別化を行いなが ら、言語研究の重要性と意義について学ぶ。言語のしくみと機能を適切に理解することがコミュニ ケーションにとっていかに重要であるかについて意識的に考えることで、現代社会において正しく 言語運用を行うための視点を養う。 言語コミュニケーションコースにおいて3年次対象の専門科目を担当する教員が各回、それぞれの 研究分野の観点から、講義を行う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の特性やしきみ、機能を理解することの重要性を認識できる。</li> <li>・言語学が何を目標とする学問領域であるかを適切に理解できる。</li> <li>・言語学の主要研究領域とその特徴について大筋で理解できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的な参加と取り組み: 30% 課題: 70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	言語学		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業時にハンドアウト等を配布する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 6/14	オリエンテーション & 言語学で何を学ぶのか (谷川)
第2回: 6/21	英語学 (西原)
第3回: 6/28	社会言語学、語用論、コミュニケーション論 (ピノ)
第4回: 7/5	応用言語学、英語教育 (小笠原)
第5回: 7/12	日本語学、方言学 (原田)
第6回: 7/19	中国語学、日中対照言語学 (楊)
第7回: 7/26	母語獲得、第二言語習得 (限上)
第8回: 8/2	日英対照言語学、統語論 & 総括 (谷川)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20194806006001	科目番号 / Course code	48060060
科目ナンバリングコード / Numbering code	HSMC 10111_271		
授業科目名 / Course title	エリア研究入門 / Introduction to Area Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto, 首藤 明和 / Toshikazu Shuto, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 王 維 / Wang Wei, 賽漢卓娜 / Saihanjuna, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	南 誠 / Minami Makoto, 首藤 明和 / Toshikazu Shuto, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 王 維 / Wang Wei, 賽漢卓娜 / Saihanjuna, 野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	学部モジュール		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟G3A / RoomG-3A		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lsk-minami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総研棟10階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前に連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この講義は、「エリア研究」という切り口から見た、「知の旅への誘い」である。エリア研究の 現状と課題の紹介を踏まえて、「液化化する地域研究(liquid area studies)」という観点から、人 文・社会系の諸学問が、ヒト・モノ・カルチャーの移動/伝播(フロー)をどのように解明してい るのかを具体例を通じて学び、地域空間(渦)の生成と再生産について理解を深めていく。		
授業到達目標/Course goals	・具体的な事例を通して、新しいエリア研究の視角を獲得するとともに、それを自分の言葉で説明 できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義参加60%、最終レポート40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	液化化する地域研究(liquid area studies)、ヒト・モノ・カルチャーの移動と融合、グローバル化 とローカル化、地域空間の生成と再生産、北東アジア、コリアン、華人・華僑、北方少数民族、回 族、モゴル、窯業技術		
教科書・教材・参考書/Materials	講義中に必要に応じて指示する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)	講義内容などについて変更があった場合は、講義中で改めて説明する。		

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第一回 (11月29日)	イントロ (担当: 南誠)
第二回 (12月6日)	華人・華僑文化のグローバル化とローカル化 (担当: 王維)
第三回 (12月13日)	中国の北方少数民族の越境移動と家族 (担当: 賽漢卓娜)
第四回 (12月20日)	東南アジア (雲南・ミャンマー・タイ・台湾) における回族の移動 (担当: 首藤明和)
第五回 (1月10日)	文化の交わりとフィールドワーク モンゴルの遊牧文化を題材として (担当: 滝澤克彦)
第六回 (1月24日)	北東アジアにおける窯業技術の伝播 (担当: 野上建紀)
第七回 (1月31日)	エリア研究作法の小まとめ (担当: 南誠)
第八回 (2月7日)	総括 (担当: 南誠)